

単元名	ダンボールを使ってオリジナルグッズを作ろう		学年	5年生
内容	A_ものづくり	(イ) オリジナルグッズの制作・販売型	総時間数	35
目標	○町工場で働く方々のお話を聞いたり、見学に行ったりして、働く人たちの思いを知り、理解を深める。 ○実際にダンボールを使ってどんなものが作れるか考え、話し合いながらふさわしい作品を完成させる。			
指導計画の概要				
学習過程	主な学習活動			外部連携・教材等
コンセプト	・地域のダンボールの会社についてインターネットで調べる。 ・ダンボールの会社で働く方々のお話を聞く。 ・会社へ見学に行き、どんな思いでどんなものを製作しているのか調べる。			これから相談します。
デザイン	6月 事前学習を進める 7月 講師の方に来ていただき、話を聞く。 8月 企画書の作成⇒どんなものが作品としてふさわしいか、アイデアを考える。 9月 見学⇒働く人たちの思いを知り、どんなものが製作できるか考える。 10月 作品、グッズのアイデアを決め、製作を始める。 12月 講師の方に来ていただき、アドバイスや評価をもらう。1月 グッズの完成			
クリエイション	・タブレットを活用して学習内容を記録する。 ・アイデアをグーグルスライド等にまとめる。 ・資料をもとに作品やグッズのアイデアをプレゼンテーションにまとめる。 ・実際に作品作りに取り組む。 ・校内に向けての成果発表を行う			
本単元を行うために授業時数を削減する教科等、本単元で補完する内容及び削減する授業時数				
教科名等	本単元で補完する内容			授業時数
国語	話すこと・聞くこと	・目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。		9
	書くこと	・引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。		
社会	工業	・製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して、工業生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現すること。		5
算数	データの活用	・目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について多面的に捉え考察すること。		2
図工		作品作り		4
		作品作り		
総合	・地域の人、もの、ことの中から問いを見だし、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理、分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付けている。			15